



第1号

■発行 花桜会大学部会  
 責任者 益田 理恵子  
 熊本市榎木6-5-1  
 096-338-8840  
 ■印刷 (株)河田印刷

広がれ！花桜会の和・輪・話



第三代会長 益田 理恵子

百日紅の鮮やかなピンクが、夏空に映えています。立秋は過ぎたというものの、まだまだ暑さは衰えを知りません。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

尚綱大学開学三十周年記念大同窓会から、早一年が経とうとしています。出席できなかった方にも当日の様子をお知らせしたく、新聞を発行する事を思いついたまでは良かったのですが、中々作業が進まず、今になりました事をお許し下さい。

当日は、まず総会を開き、これまでの決算報告・平成十七年度の予算案を承認して頂き、会費の値上げと、支払い

方法の変更を可決致しました。これにより、一万円の会費を入学時に納入し、在学中は、準会員として会の行事に参加できる様になりました。

続く懇親会では、江口吾朗理事長兼学長、國津英愛常務、片山貞子花桜会々長を来賓としてお迎えし、十五名の先生方と卒業生二〇名で和やかな時間を過ごしました。

最も印象に残ったのは「書琴」です。一回生の岩永直子さんの琴の演奏とともに、書道コース四年生の学生さん六名が、みごとな書を披露してくれました。「花桜」と「昭



注目を一身に浴びていました。この方々以外にも、会員の皆さんが立派な社会人・家庭人・学生として活躍中である事を、大変嬉しく思いま

憲皇太后御下賜御歌」が、美しい琴の音に包まれて、畳一畳程のパネルの上に、繊細かつ力強く書かれていき、正に尚綱大学ならではのアトラクションに惜しみない拍手が送られました。墨で床が汚れるのではないかと心配 紙の手配、大きな用具の運び込みなど、様々な難問を次々とクリアされていく様子から二回生の小島曜子さんを中心に、歴代書道部の皆さんの縦・横の結束力の強さと、書

に対する情熱を感じました。司会を務めていただいた杉本幸智世さんは十五回生、プ口の司会者・DJとして活躍中です。数年前から声楽を習い始めたという五回生の内藤潤子さんは、志願して美しい歌声を聴かせて下さいました。

この方々以外にも、会員の皆さんが立派な社会人・家庭人・学生として活躍中である事を、大変嬉しく思いま

す。学歴にこだわらぬ訳ではありませんが、高校を卒業して社会に出る間の四年間を大学という場で過ごせたという事は、非常に意義深いものです。色々な事を学び、楽しみ、悩み、そしてある程度大人になって社会に出る事ができたからです。皆さんが今、その年代に応じた輝きを放っているのではありませんか。胎内に命を育む性を持つて生まれた人間として、次世代の為に知的好奇心は捨てられ



あてやか！岩永直子先輩 (1回生)

りながら近い将来、若い世代の方々にバトンをお渡ししたいと考えております。最後になりましたが、会員

つれづれに

初代会長 永田恵美

私が初代同窓会会長になった理由は、同窓会本部と同じ敷地内の高校に勤務していたからだ。ご存じの通り、尚綱の同窓会は大学部会・短期大学部会・高校部会と分かれており、それを統括するのが同窓会本部である。当時学園の百周年行事を控え、本部での各部会の会長会議が頻りに開かれていた。

「仕事は私たちで済ますから」という他の役員さんたちのお言葉を頼りに名前だけの会長職を引き受けてしまった。役員さんたちの言葉は本当で、名前ばかりの会長をもち立てて百周年の大同窓会は無事挙行された。

その後、役員さんたちが色々な事情で熊本から離れたり、同窓会から遠くなる、名前ばかりの会長はまるで役に立たなくなつた。家族の介護が入ったことも個人的な時間をなくさせていた。

その窮状を見かねたが、一回生で高校で同勤だった

の皆さんのご健康とご活躍をお祈りしますと共に、尚綱大学の益々のご発展を祈念いたします。

津田桂子さんだった。津田さんは自分から会長を引き受けて下さり、大学だけの同窓会を開いてくれた。理想の会長を得て同窓会もこれからという時に津田さんが病に倒れた。しかし、本人も周囲もその回復を信じて疑わなかった。同窓会活動は、その回復を待って、と思っていたが、津田さんは四〇代半ばで帰らぬ人となられた。四年たつが、まだ信じられない。

その混乱の中、会長になつて下さったのが現会長の益田理恵子さんである。色々な思いがあつたと思うが、柔らかな笑みと口調で、大学の三十周年の同窓会を成功させて下さった。優秀なスタッフにも恵まれ、三十周年の同窓会は華やかで格式のある中にも和気藹々としたものだったが、それは益田さんの人柄でもあつたと思う。

尚綱大学は十階建ての新学部校舎を九品寺校地に構え、ますます発展している。頼りない初代会長だったが、開学から三十年、尚綱大学のいよいよの発展を願つて止まない。

# 年記念大同窓会

2005.9.22  
ホテル日航熊本

# 華やかに



## 尚綱大学 大同窓会に寄す

古澤 未知男 先生

比の度は尚綱大学開学三十周年記念大同窓会の開催、皆さん方の一致協力により萬事滞りなく終了しました事、先づ以て衷心祝意を表します。関係者皆さん本當にご苦勞様でした。会員各地より多数参加、中には卒業後初めて顔を合はせた方も少なくはなかったのではとも思いますが、会は名司会の元懐旧談終始和やかに時の経つのも忘れる程でした。誠に時宜を得た意義深いものでした。特に私にとつては皆さん夫々に立派な社会人或いは主婦・母親となつて活躍、地域に貢献して居られるのを伺ひ思はず目頭が熱くなるのを覚えました。これも偏に皆さんの将来を思ひ、時に教壇の鬼と化して叱咤激



95歳の古澤先生、いつまでもお元気で。

励した年老いた古い教師の偽らぬ真情の発露だったので

所で昨今世間では所謂大学改革が大きな問題となつて居ます。本学も今年度からは随分思ひ切つた改革が実施されるやうです。勿論現当局の方々が英知を集め責任を以て策定された訳ですから私共今は唯これが成果を期待するのみです。右の次第ここで私は是非皆さんに訴へたい事が二つあります。

先づ其の一つは「衣錦尚綱」です。皆さん篤とご存じの事ですので駄弁は一切省略しますが、要は比の語の前提に先づ「錦」の有る事です。「謙虚貞淑」な婦徳の前には必ず「錦」がなければならぬといふ事です。而して其の「錦」とは取りも直さず「知性」「教養」つまり「学問」です。「謙虚貞淑」の婦徳涵養の為に須らく先づ「学問」「勉学」に励んで戴きたいと思ふので

其の二は同窓会の出典ともなつた御歌「花櫻」の事です。これも皆さん百もご存知、畏れおおくも昭憲皇太后から御歌を下賜されたのは当時の女子学習院、現お茶の水女子大学、それに本学の三校だけ、而も本学は未だ西陸九州の一角に誕生したばかり、無名の一私立校だったので。唯比の一事を以てしてもこれが如

何に空前破格の大恩典だったかは余りにも明白です。既に紙幅もつきましたので他は皆割愛しますが、私の信頼する尚綱の皆さんそこは何卒御賢察願ひあげます。右二ヶ条皆さんのご努力によつて必ずや果たされる事固より私は確信します。それは皆さんの一致協力によつて本大同窓会がかくも目出度く実施された事が何よりも明らかに証明しているからです。

## 思い出

井上元二先生

昭和五十年、尚綱大学開学の時、縁あつて体育教師としての職を奉じた。

それ迄の二十七年間は、体育教師の経験はしたものの、女子体育の指導は皆無で、一抹の不安は感じつつも、「大学でも体育の実技があるの」、「保健体育の講義もあるの」高校までの体育の在り方に、少々疑問も感じた。

学生の希望するであろう、体育館、プールと立派な施設も整えていただいた。

五十年十月、遠隔地学生の便を考へて、見事な学寮が完成したが、突如、学寮長を拝命、全くの素人、当たつて砕けると、自宅から二キロ近いところであつたが、全く家に帰らず、单身赴任を決め込ん

で、五年半、さぞかし寮生たちは、迷惑だった事だろうと、今も思い返す。

心配した家内が、父の様子見の為か、長女(大学国文)、次女(短大幼教)に入学させた経緯もあつた。

今にして思へば、教職に就いてから四十六年間、幼稚園、中学校、高校、短大、そして四年制大学を経験させて頂き、しかも公立、私立と半々に、教育行政(県・熊本市教委)も加へて、漸く一人前の教員と思つた時は、もう体育教師としての力尽き、平成六年十九年間の尚綱学園を去るに至つた。

## 三〇年前の初心

西嶋敏 就職課長

尚綱大学開学三〇周年記念大同窓会にお招きをいただき心から感謝申し上げます。

懐かしい方々と再会し実に楽しいひとときを過ごすことができました。

その上、同窓会会長の益田様から昨年末会報誌を発行するので何か書いて欲しいと原稿依頼があり身に余る光栄と思つて軽く引き受けました。いざ、原稿用紙に向かうと考へがまとまらず、提出期限が過ぎて、これで何も書かないで良いと安心しておりましたところ催促があり非力を感じ

# 尚絅大学開学30周年

# 和やかに



1回生と共に、西嶋先生嬉しそう！

ながら自分自身を振り返る意味で書かせていただきました。

私も尚絅学園に奉職して昨年三〇年目を迎えました。振り返れば、この三〇年間は、尚絅大学と共に歩んできたよう

です。昭和五〇年に尚絅大学の開学と共に縁あって、体育助手として勤務することになりました。今考えれば、不思議な縁であったと思います。

体育助手として、印象に残っていることは、井上教授の下で体育実技の授業中、学生と相撲を取ったことです。その

当時は、私に武があったと思

っていました。先日の同窓会で三〇年振りに卒業生の姿を見ていささか不安になりました。その他に特に記憶に残っていることは、学生会主催のオリエンテリングを行ったことです。JR立田駅から

い汗を流した後に食べたおにぎりの味が未だに忘れられません。

また、体育助手をしながら事務の仕事も命じられていた

したので、大学草創期の大変さを身を以て体験したことが、その後の職業人生に大きく影響しました。

事務で忘れられないことは、如蘭学寮のことです。入学式の朝、突然事務局長から学生の世話をするように命じ

られました。約半年間、寮に泊まって学生と寝食を共にできたことは、学生を理解する上で大いに勉強になりました。

また、第一期生が就職の時期を迎え事務担当者として本

当に苦労しました。当時は、高校生花盛りで女子大の就職は本当に厳しいものでしたが、学生のフアイトに逆に励まされたことを鮮明に覚えて

います。その他にも色々とエピソードを思い出してきましたが、紙面の関係もあるのでそろそろまとめてみたいと思います。

たとき、卒業生から同窓会の案内を受け出席するか随分迷いましたが、皆さんの顔を見たくなり出席することに決め

ました。当日は、まだ腹の底に力が入らず不安でしたが、卒業生から「先生、前とちょっと

変わらん・・・！」と声を掛けられ、喜んでいいのか複雑な気持ちでしたが、三〇年前に徐々にタイムスリップしていく自分に嬉しくなりました。

それは、正しく三〇年前の初心に戻れたことです。これからも、初心を忘れず微力ですが、学生のサポートをしたいと思っています。

皆さんに巡り会えた不思議さに心から感謝しました。次の同窓会で再会できることを楽しみに待っています。

「生きて感動！」「生かされて感謝！」皆さんも健康に注意して、素晴らしい人生を送ってください。

合掌

## 同窓会に

### 参加して

国文三回生

首藤(友池)早苗

二〇数年ぶりに先輩方や同級生、そしてとてもお元気に過ごされていらつしやる諸先生方に、お会いできた事とても喜しく思いました。あの頃より少しだけ？お年を召されてはいらつしやいました



首藤さんと3回生の皆さん

が、お会いしてすぐに、お名前が出てくる程、以前とちつとも変わっていらつしやらないお姿に私自身も学生時代に戻った気持ちで一杯になりました。

会はとても賑やかで、在校生や卒業生方のご活躍ぶりが伺える出し物は素晴らしいものばかりでした。数時間ではありましたが、とても楽しく過ごさせて頂きました。

今回、参加出来なかった皆さま、次回は是非、お会い出来る事を楽しみにしています。

最後に、この会の為に準備に携わって下さいました皆様方に心より感謝致しております。ありがとうございました。



平成十八年度  
**花桜会**  
**大学部会総会**

七月八日真夏の到来を知らせるせみ時雨の中、九品寺校地花桜会館において、平成十八年度総会が開催されました。

塚本典代さん(五回生)を議長に選任し、まず前年度行事、決算報告、監査報告および九月に行なわれた開学三十三周年記念大会同窓会の報告の後、今年度の行事予定・予算案を提示。予算の内容などについての質疑応答のあと全会一致で承認されました。

引き続き、熊本保健科学大学教授・片渕美和子氏の講演を聴きました。年々低年齢化する性感染症について、データを元に解説があり、子育て、性教育から女性特有の病気に



至るまで歯切れの良い話しぶりに、参加者一同、時折メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

総会後、時間に余裕のある参加者で、新校舎の見学をしました。最新の教室と、早朝から夕方まで開店しているコンビニ、健康に留意したレストランなど、目を見張る設備の数々に、これからここで勉学に勤しむ学生達をうらやましく思いながら学校をあとにしました。



～ 募金 の お 願 い ～

今年度より尚綱大学は、新しく文化言語学部及び生活科学部を開設し、それに伴い10階建ての新校舎が九品寺キャンパスに建設されました。

花桜会大学部会では、後輩の育成を側面から応援する為、会員の皆様に御寄附をお願いする事に致しました。趣意をご理解いただき、御協力賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- ・ 1号館建設に伴う募金  
一口2,000円 (何口でも結構です。  
同封の振り込み用紙をご利用下さい。)

- ・ 問い合わせ  
〒861-8538 熊本市榎木6-5-1  
『花桜会大学部会』 Tel 096-338-8840

お知り合いの女子高生の方にPRして下さい。

榎木キャンパス

- 尚綱大学 文化言語学部[文化言語学科]
- 尚綱大学短期大学部[幼児教育学科]

開放的な雰囲気の中で、学生生活を満喫

榎木キャンパスには、尚綱大学文化言語学部文化言語学科と短期大学部幼児教育学科、附属幼稚園が集結。緑あふれる学内には、大量の蔵書を持つ図書館や最新機種を備えた情報処理室、学生食堂を兼ね、休み時間や放課後にも利用できる学生ホールなど、真摯に学ぶ学生をさまざまな角度からサポートする環境が整っています。

敷地内の附属幼稚園は、幼児教育学科の実習機関としての役割を兼ねており、教諭の殆どが幼児教育学科の卒業生で、その学生は先輩から丁寧な実習指導を受けています。



アクセス

**JR**  
JR豊肥本線 武蔵塚駅下車、徒歩20分

**バス**  
交通センターBホーム  
清水方面行き  
(新地団地経由泉ヶ丘行き、杉並台行き)  
尚綱学園・RKKグラウンド前下車、徒歩1分

九品寺キャンパス

- 尚綱大学 生活科学部[栄養科学科]
- 尚綱大学短期大学部[総合生活学科・食物栄養学科]

熊本市中心部に位置し、静けさ漂う学び舎

尚綱大学生活科学部栄養科学科と、短期大学部総合生活学科・食物栄養学科がある九品寺キャンパスは熊本市の中心部に広がり、尚綱学園の発祥となった尚綱高校や、学園本部も敷地内にあります。10階建ての1号館には、臨床栄養実習室や栄養教育実習室、精密器室などの最新の設備が準備されています。

また、図書館には12万冊の蔵書があり、利用しやすい学び場として活用されています。



アクセス

**JR**  
JR鹿児島本線 熊本駅下車

市営バス第一環状線  
大学病院方面まわり  
尚綱校前下車、徒歩1分  
(逆まわりにご注意ください)

市電(健軍行)  
九品寺交差点下車、徒歩1分